



「研修便り」は、高知市立学校教職員研修の成果・内容の共有、教育研究所から発信する情報の周知を目的として、発行していきます。

養護教諭研修会

令和3年7月13日（火）実施

「感染症の基礎知識と対策～学校生活で気を付けること～」

講師：国立感染症研究所 感染症疫学センター 多屋 馨子 予防接種総括研究官

「まずは知ることから始めよう！」～知ことは大きな感染症対策です～

① 感染源対策 ～細菌とウイルスは全く違う～

- ・ ウイルスは細菌と比べ非常に小さく、ナノメートル（1mmの100万分の1）という大きさである
- ・ ウイルスは、生きている細胞に感染して初めて子孫を増やすことができるが、細菌は栄養分があれば自分だけで生きていける
- ・ 抗生物質は細菌には効くが、ウイルスには効かない

適切な消毒、
換気をしまし
よう



② 感染経路対策 ～感染経路は病原体によって違う～

- ・ まずはどのような経路で感染するのかを知り、感染経路を遮断することで感染対策になる

空気感染	飛沫感染	接触感染	経口感染
 空気中に漂っている病原体を吸い込む	 咳やくしゃみ、会話などによって短い距離(1~2m程度)に飛び散った病原体を吸い込む	 病原体が接触した皮膚や粘膜から入る	 食品や便の中にある病原体が口から侵入
麻疹ウイルス 水痘帯状疱疹ウイルス 結核菌 他	新型コロナウイルス インフルエンザウイルス RSウイルス 他	新型コロナウイルス アタマジラミ 他	ロタウイルス ノロウイルス 他

その他 血液媒介感染・蚊媒介感染 等

③ 感受性対策（予防接種等）

～その人に免疫をつける～

- ・ 免疫をつける二つの方法
Ⅰ：ワクチン等で免疫をつける方法
Ⅱ：抗体を投与する方法
- ・ ワクチンがあるものはワクチンが打てる
ワクチン接種…あらかじめその病気に対する免疫を獲得
- ・ 感受性対策を行うことで、感染症が発生したとき、かかる可能性を減らしたり、重症化しにくくなる

【国の基本的な方針】は、「ワクチンがあるものはワクチンで予防しよう」となっている。
ワクチンがないものは、「① 感染源対策」, 「② 感染経路対策」で予防していくしかないということになる。

～多屋先生からのメッセージ～

以下のことを、教職員と保護者、子どもたちがみんなて共通認識として持ってほしいと願っています。

- ・ 新型コロナウイルス感染症が流行しています
- ・ 誰が感染しても不思議ではありません
- ・ 感染した人は決して悪くありません
- ・ 感染症にかかることは悪いことではありません
- ・ 感染した人がいたら、それが子どもたちであっても、教職員であっても、治って学校に登校・出勤してきたら、みんなで「よく頑張ったね、もう大丈夫？」と優しい声をかけてあげられる環境づくりをお願いしたいと思います
- ・ 感染した人がつらい思いをしたり、いじめにあったりすることは決してあってはなりません



【受講者の感想】

- ・ 新型コロナウイルス感染症をはじめ、様々な感染症の発生動向や対策方法などそれぞれ詳しく知ることができた。過去にも他の感染症が流行している時期があり、そのことから考えると、ワクチンの副反応を心配する声もあるけれど、必要なワクチンを適切な時期に接種して、ワクチンから抗体を獲得することも大切だと感じた。
- ・ ウイルスと細菌の違いという点の一つとっても、教職員も分からずにいる場面を見ることがある。感染症対策等も含め、具体的に丁寧に啓発していくことが大事だと思った。

対象：高知商業高等学校全日制教職員及び希望者

「高校教員のための探究学習入門」

講師：大阪大学 全学共通教育推進機構 佐藤 浩章 准教授



本研修を通じた問い
**どのようにすれば、
 質の高い探究者を
 育成することができるのか？**

～本研修における探究学習の定義～
 学習者が問いに答える活動を通して、
 知識創造を行う学習方法

②問いをつくる

探究には「問い (research questions)」が不可欠。



問いのつくり方の例…問いの規模と深度を教える

問いの規模 (scale)

適切な問いかどうかを生徒が判断できるようにするために

1時間で考えるには小さすぎる…

①狭 今日ランチで、私はラーメンを食べるべきか、カレーを食べるべきか？

②広 人類は、21世紀をいかに生きるべきか？

1時間で考えるには大きすぎる…
 一生かけて問い続けるような規模の問い

問いの深度 (depth)

種類	目的	問いの具体例
知識	知識、情報の再生	この商店街はいつ作られたのか？
理解	学習内容の解釈、比較、言い換え、説明	この商店街の特徴を他の商店街と比較して説明するとどうなるか？
応用	学習内容を問題解決に応用	この分類方法を使って、商店街の課題を分類するとどうなるか？
分析	原因・動機の区別、推量、演繹	なぜこの商店街には人が来なくなったのか？
総合	アイデア創造、問題解決、拡大	この商店街に人を集めるアイデアにはどのようなものがあるか？
評価	認識の評価、吟味、価値判断	この商店街の活性化案の中から最も優れたものはどれか？その理由は何か？

⑤問いを探究し答えをつくる

探究学習において、教師の役割は「情報伝達者」ではなく「知のファシリテーター」。

ファシリテーターの基本スキル

- ・ 質問する
- ・ 掘り下げる
- ・ 分かりやすく言い換える
- ・ 質問や発言の方向を転換する
- ・ 既に出た意見やアイデアを振り返る
- ・ 応援する
- ・ 発言の少ないメンバーを引き入れる
- ・ 異なる意見を歓迎する
- ・ 視点を変える
- ・ 要約する
- ・ 橋渡しをする

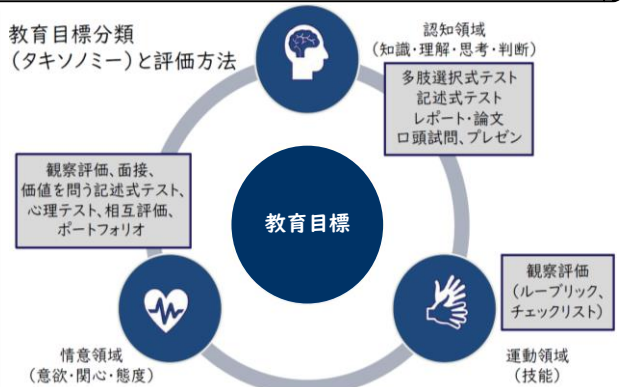
認知レベルが浅い時、深い思考になるよう切り替える

「〇〇先生なら分かるかも！」
 「次回にやりましょうか！」

フラン・リース (2002)

⑥学びを評価する

評価するのは目標の達成度とそのプロセス。目標の領域別に適切な評価方法が紐付けられている。



受講者の感想



「探究学習は解決しなくてよい。課題を立てて、その内容を研究する」という佐藤先生の言葉で、探究学習と向き合う心構えが随分と楽になった。ほかの先生方も同じような悩みをもっているということが分かり、互いにアイデアを出し合えば、よい授業づくりができると感じた。生徒たちには、学習したことを生かして、自身の生活を改善する力や地域社会の問題を解決する力を身に付けてほしい。探究の問いづくりに取り組み、2学期からの実践に活用したい。